

# ごみ減量大作戦!



あざぶ きたみ  
医療法人耳鼻咽喉科麻生北見病院

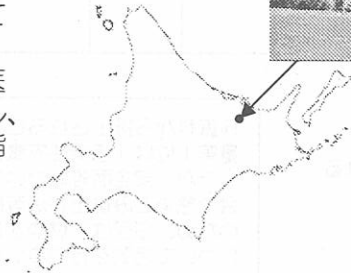
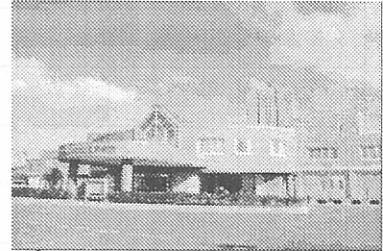
発表者 麻生北見病院 検査科 けんじょう よしこ 見城 賀子

## 1. 病院紹介

北見市に耳鼻咽喉科専門病院として、1997年“麻生北見病院”を開院（病床数50床）し、1999年、歯科口腔外科を開設しました。

『病気にはお休みはありません。だから私達も休みません』を合言葉に、年中無休診療及び、夜間診療を行っています。

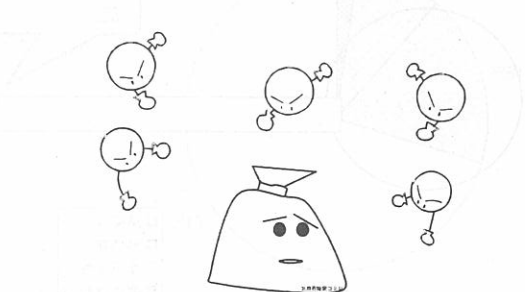
患者様に信頼され、安心して利用して頂ける「一流の医療チーム」と成るべく、常に患者様との対話を大切に、病院理念である「開かれた病院・質の高い病院」を目指しています。



## 2. スタッフ紹介

私たち「ザ・トラッシュ」は、男性2名女性3名の計5名で活動を行っています。

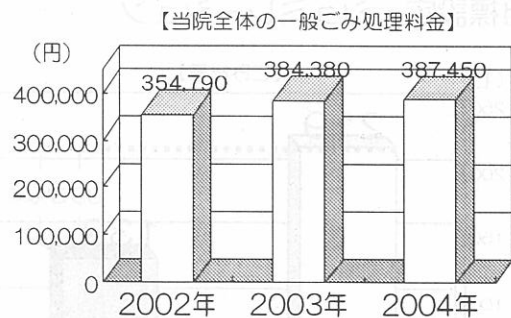
年中無休診療により交代制の勤務になってしまうため、全員が集まる事はなかなか出来ませんが、毎月の会議や院内ネットを活用し、スタッフ間の連絡体制を取っています。



## 3. テーマ選定

近年、ごみ増加については社会的な問題になっています。当院でもごみの処理料金は増加傾向にあり、一般ごみ処理に関するコストも年間約30万～40万円もかかっています。

そこで、検査科では「コスト削減」と「環境保全」の両面からごみ削減に対する活動を行う事にしました。

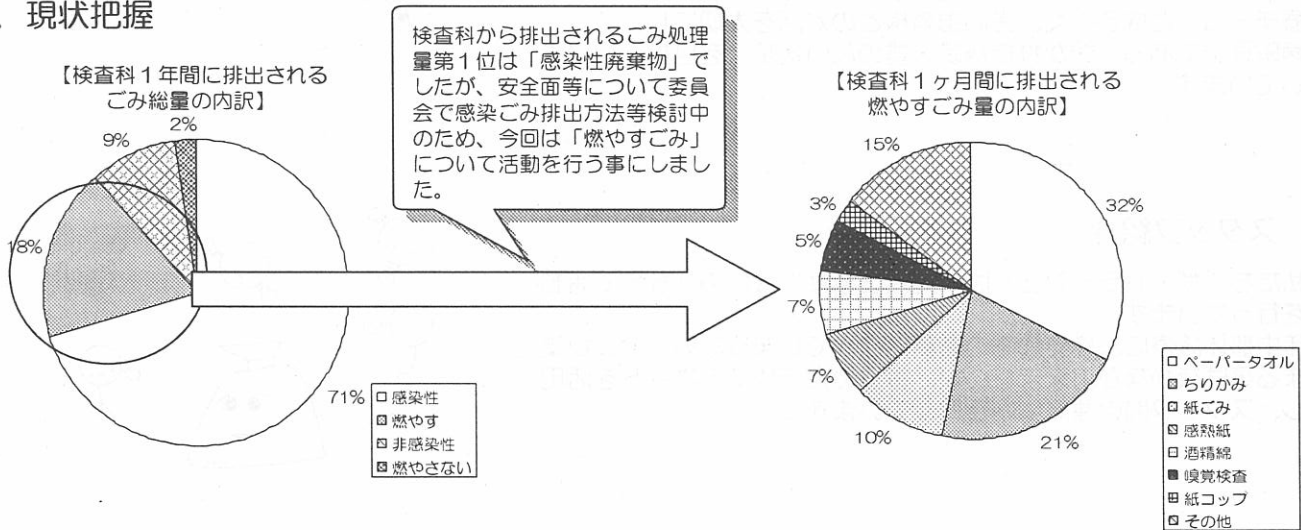


サークルチーム名		ザ・トラッシュ (2004年7月 結成)			
リーダー氏名 (職種)	見城 賀子 (臨床検査技師)	所属部門	医療技術 (検査科)	月あたり会合回数 (リーダー・サブリーダーのみ)	10回
リーダー経験年数	3年			平均会合時間	1時間
メンバーの数	計 5名 うち男 2名 女 3名	活動内容	コスト削減	平均会合出席率	100%
				テーマ歴 (このテーマで)	3件目

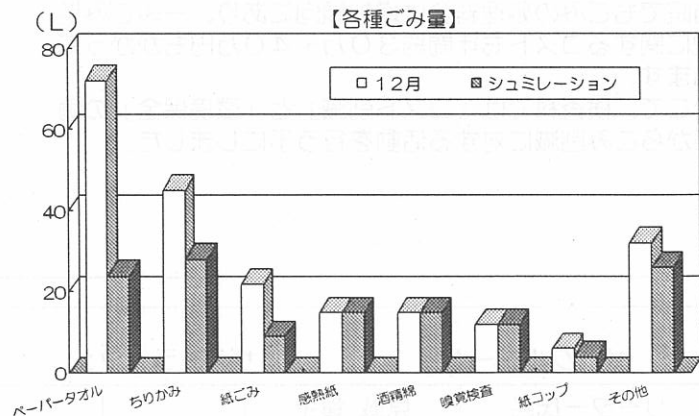
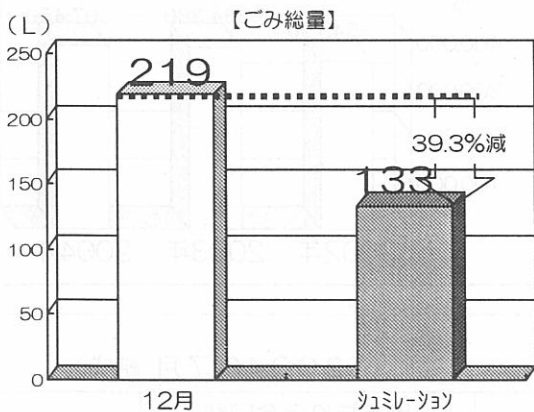
#### 4. 活動計画

QCの流れ	担当者	2004年		2005年									
		11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月		
テーマ選定	見城、小野井上	→											
現状把握	見城井上		→										
要因解析	見城井上			→									
対策立案	全員				→								
対策実施	全員								→				
効果確認 歯止め	全員											→	
反省	井上												→

#### 5. 現状把握



#### 6. 目標設定・シュミレーション

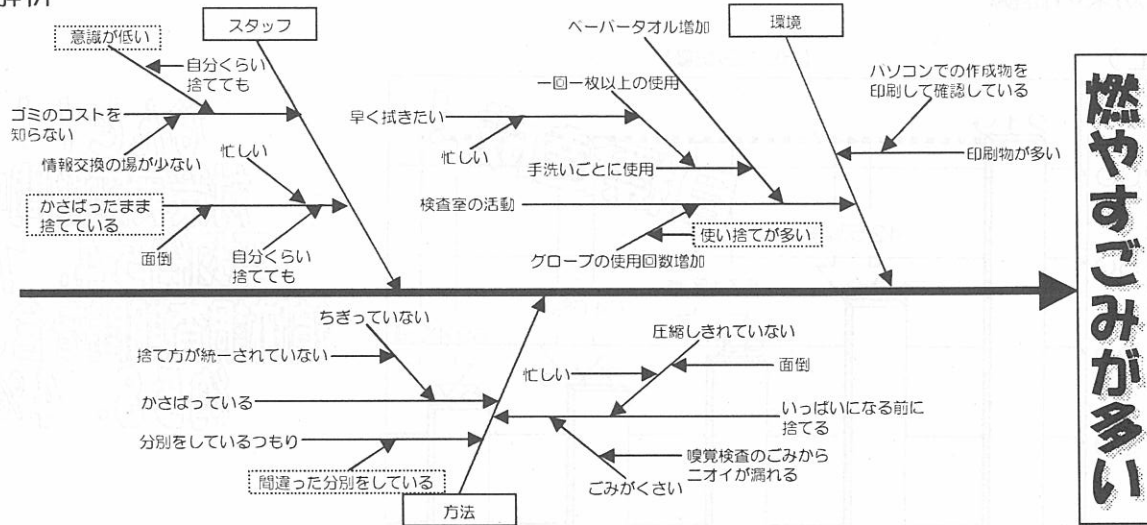


シュミレーションの時点で約39%の削減が予想される

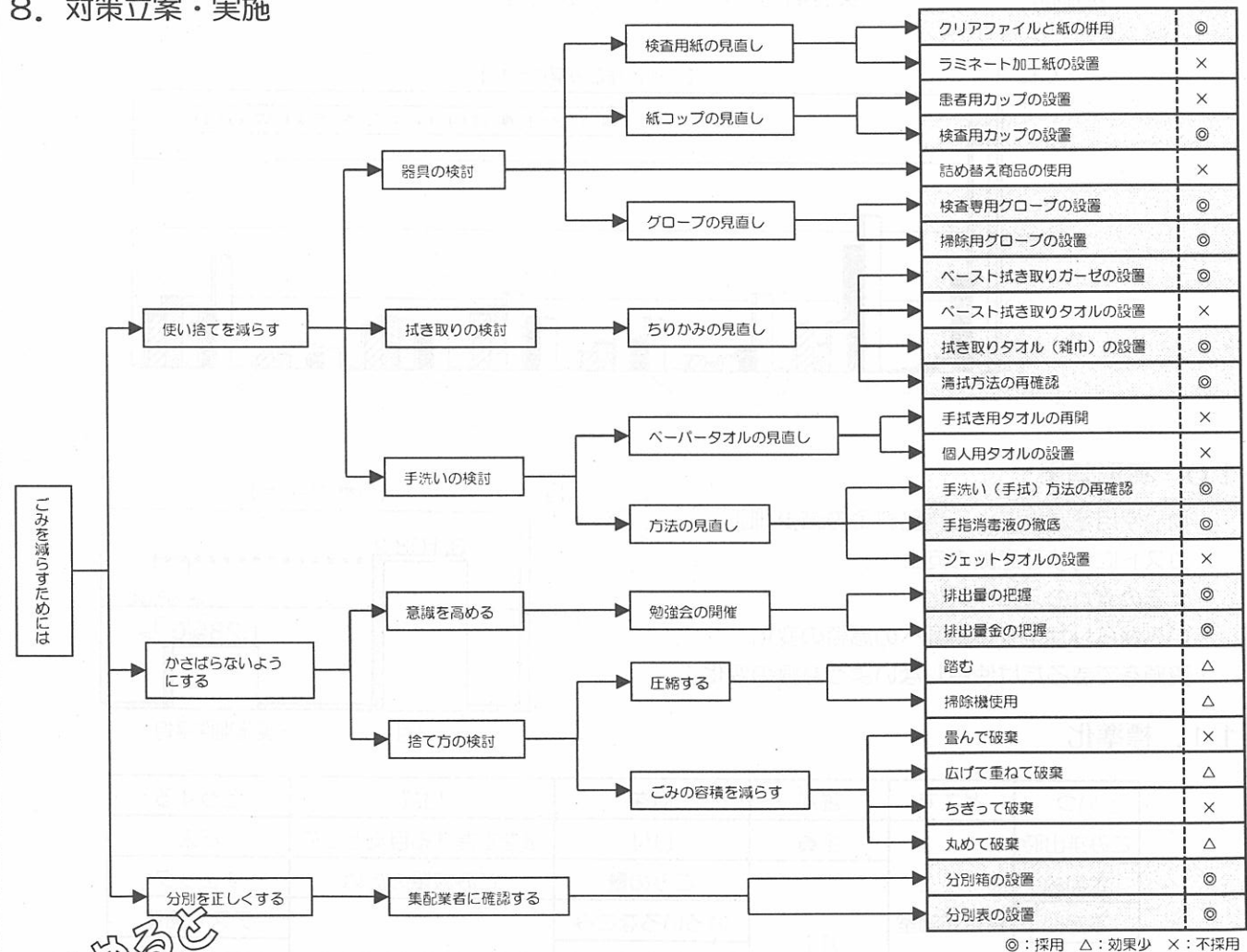
期待値含め

目標  
50%削減

## 7. 要因解析



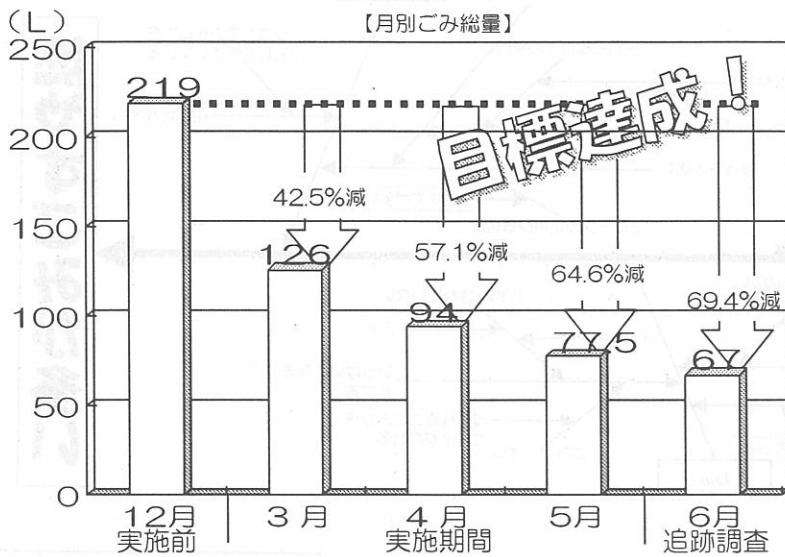
## 8. 対策立案・実施



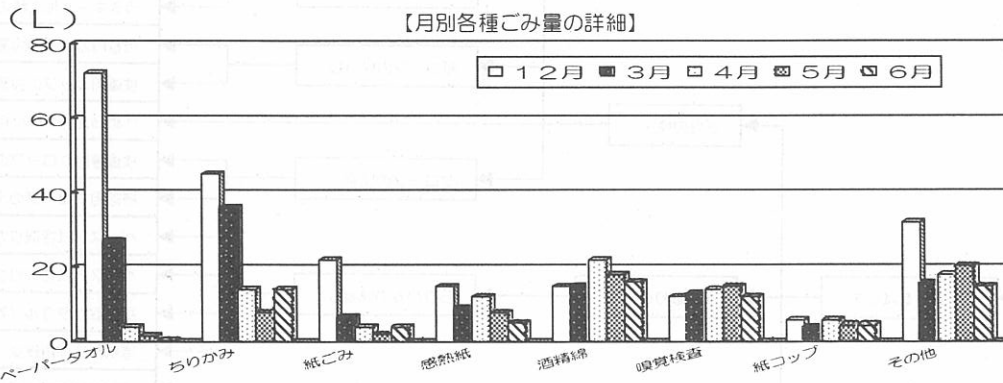
まとめると

いつ	どこで	誰が	何を	何故	どうする
2月末	各検査室	見城・井上	検査用の専用道具	使い捨てを減らす為に	設置
			専用のカーゼ・タオル		
毎月	検査技師室	全員	専用ごみ箱・表	分別を正しくする為に	把握
			排出量、料金など	かさばらないようにする為に	

## 9. 効果の確認

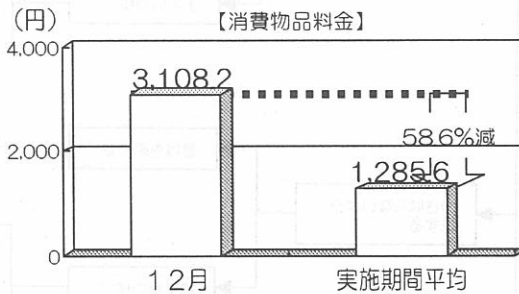


なんと!!  
対策実施期間中  
平均約54.7%減  
追跡調査期間を含めると  
約58.4%減



## 10. 無形効果

- ・ 物品使用量減少による物品料金の減少
- ・ コストに対する意識の向上
- ・ 業務の流れのスムーズ化
- ・ ごみからリサイクル資源への意識の変化
- ・ 資源をできるだけ使用しないよう意識の変化



## 11. 標準化

いつ	どこで	誰が	何を	何故	どうする
ごみ排出時	検査技師室	全員	日付	量を把握する目安として	記入
定期的			ごみの量	ごみ減量のため	チェック
不定期		井上	いろいろなごみ	正しく分別できるよう	テスト開催
7月末			わかりづらいごみ		リスト表作成
不定期			新たなごみ		勉強会開催

## 12. 反省・今後の課題

ごみとの格闘はとても大変でしたが、現状をきちんと把握できごみを減らすことができよかったです。今後は燃やすごみ以外についても検討し、病院全体としてのごみ削減についての活動を行っていきます。